

# 栗原地方振興指針（令和4年度改訂版）

## <策定主旨>

新・宮城の将来ビジョンに掲げる県政運営理念の実現に向けて、栗原地域の振興を図るための中長期的な取組方針として、目指す姿や、その実現に向けた取組方針等を定めるもの。

<期間> 令和3年度～令和6年度

## <地域の将来像>

①意欲のある担い手の確保・育成・定着により、各産業における人材不足が解消し、多様な人材がいきいきと活躍することで、事業承継や新規事業の立ち上げが図られ、地域経済が持続的な発展を続けています。

②栗原の豊かな自然など、地域の強みを活かした「栗原産」の米や野菜、果樹、花、仙台牛、木材等が生産され、それらを材料に商品開発した加工品の創出など、収益力が高い農林業が力強く展開され、消費者等に「栗原ブランド」が広く認知されています。

③人口減少下にあっても、美しく豊かな自然環境に囲まれながら、仕事と生活のバランスの取れた質の高い生活を享受することができ、食文化や地域資源を活かした関係人口の拡大や移住定住支援による移住者の増加により、栗原に人が集まり地域が再び賑わいを見せています。

④農地の大区画化やアグリテックの推進と農地の集積・集約化による労働生産性の高い農業が可能となり農業生産活動が発展的に持続するとともに、高収益作物の導入により農地利用の高度化が図られています。また、農業・農村の強靱化による地域防災の強化が図られ農村地域の豊かで安全安心な暮らしが実現されています。

⑤未利用資源の活用による新たな「なりわい」創出による、耕作放棄地の利活用や援農ボランティアの確保など、地域特有の社会的課題の解決に向けた取組にも果敢にチャレンジしています。

## <取組方針>

| 分野               | 基本方針                           | 重点推進事項  |
|------------------|--------------------------------|---|
| 商工業<br>観光<br>食産業 | くりはらの特性を活かした産業活性化による地域振興の推進    | ①商工業の持続的な成長を支える産業人材の確保・育成等支援<br>②「滞在型観光」の推進と関係人口の拡大<br>③地域の特色ある資源を活用した「栗原ブランド」の創出<br>④働きがいや生きがいを持って住み続けられる地域の創生 |
| 農業               | 地域農業を担う次代の人材育成と持続可能で多彩な栗原農業の推進 | ①地域農業を担う次代の人材育成<br>②園芸産出額の増大<br>③多様なニーズに対応した米づくりと収益性の高い水田農業の推進  |
| 農業農村整備           | 農地整備による労働生産性向上と地域防災力強化         | ①農地整備による労働生産性の向上と収益性の高い水田農業の実現<br>②多様ななりわいの創出と持続可能な農業・農村づくり<br>③地域防災力の強化  |
| 畜産               | 肉用牛生産基盤の維持・拡充と安全・安心な畜産物の供給の推進  | ①生産基盤の整備<br>②肉用牛改良増殖の推進<br>③全国和牛能力共進会鹿兒島大会の出品対策<br>④家畜伝染病の予防対策<br>⑤畜産物の放射性物質対策                                  |
| 林業               | 持続可能な未来を創造する森林・林業・木材産業の実現      | ①森林の持つ多面的機能のさらなる發揮<br>②充実した森林資源を活かした一層の産業力強化<br>③森林・林業・木材産業を支える担い手の育成<br>④安全・安心な特用林産物の生産・出荷<br>⑤「くりはらの苔」の産地化    |

## <所内連携事業（組織横断的取組の推進）>

- ①くりはらの「農」と「食」の連携強化
- ②地域資源をフル活用した地域活性化支援
- ③組織一体となった効果的な情報発信